

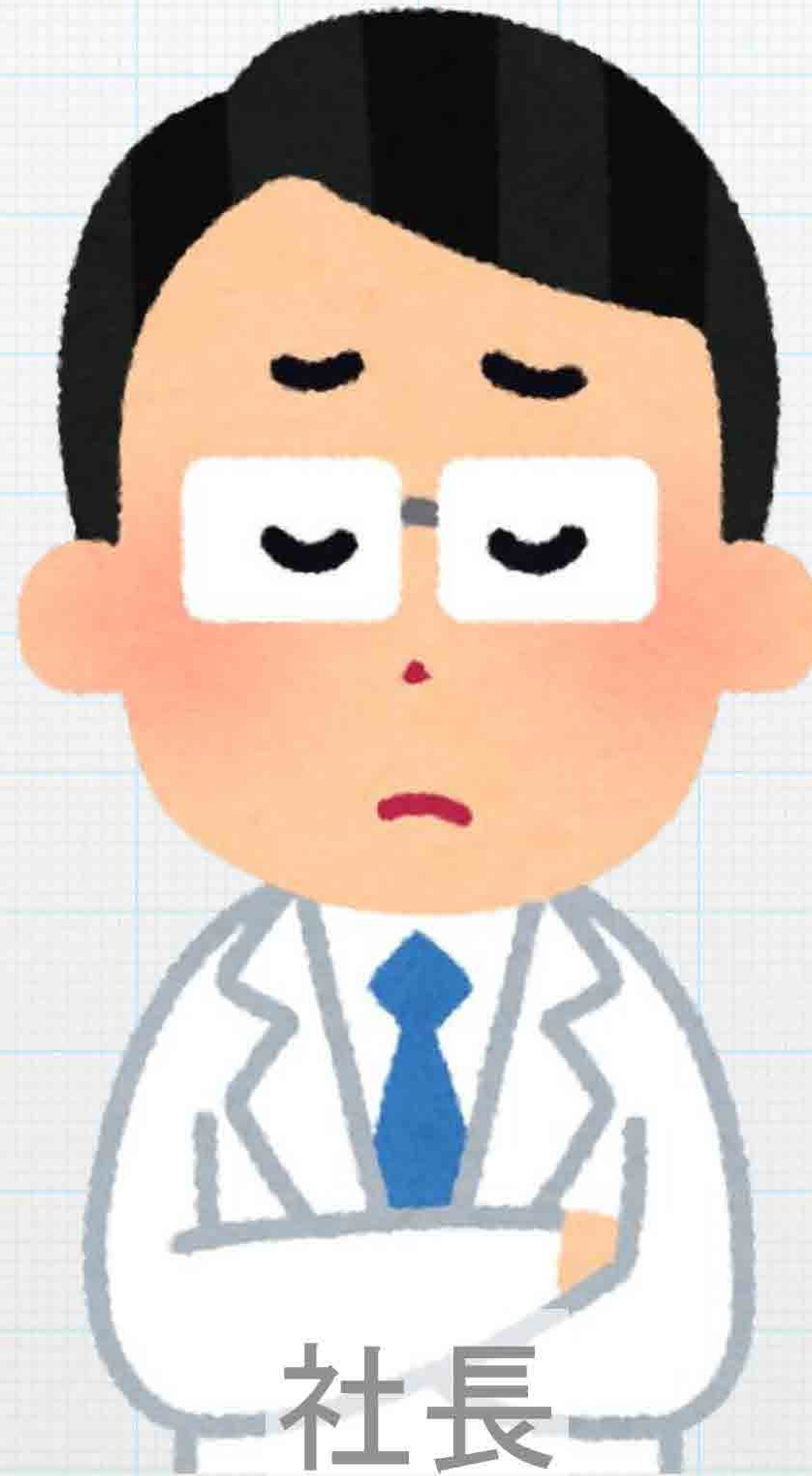
対人業務が進まない原因は？

薬剤師の労務管理



時間・気力・体力の枯渇
知識・技能・態度の不足

対物業務で手一杯



社長

薬局事業の採算性

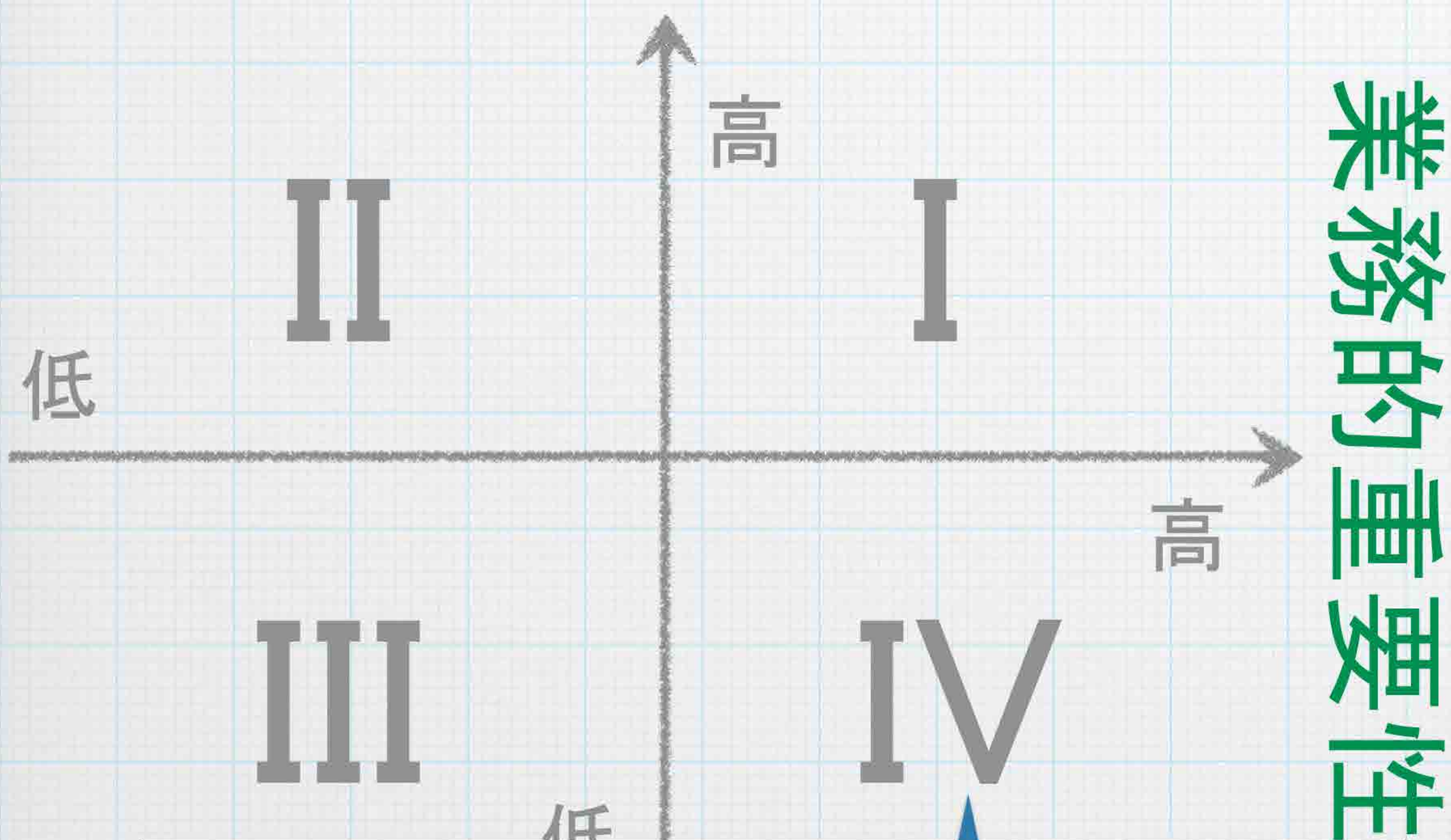


人件費や関連費の高騰
対人業務の評価不十分

対物業務の効率が良い

労務管理と採算性の解決には？

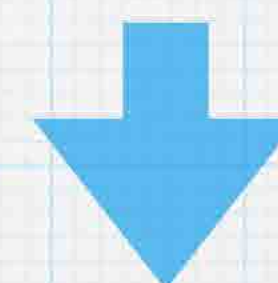
薬学的専門性



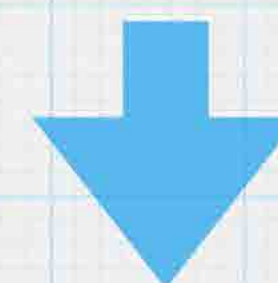
業務的には重要だが
薬学的な専門性は低い

業務フローの整理と見直し

積極的な機械化とICT化



多くの業務がIからIVへ！



IVを担う人材を育成し投入

(平成31年 薬生総発0402第1号)

IからIVへのシフトの注意点

薬に関する「**対物業務**」
の**重要性**は変わらない

- * 医薬品の適正な管理
- * 医薬品の正確な調製
- * 医薬品の確実な供給

をいかに**保つ**か

薬局・薬剤師＝**医療的**
社会資源の**活用**が**重要**

- * 一部企業による寡占化
- * 薬剤師の職域の減少
- * 医薬品供給体制の破綻

をいかに**防ぐ**か

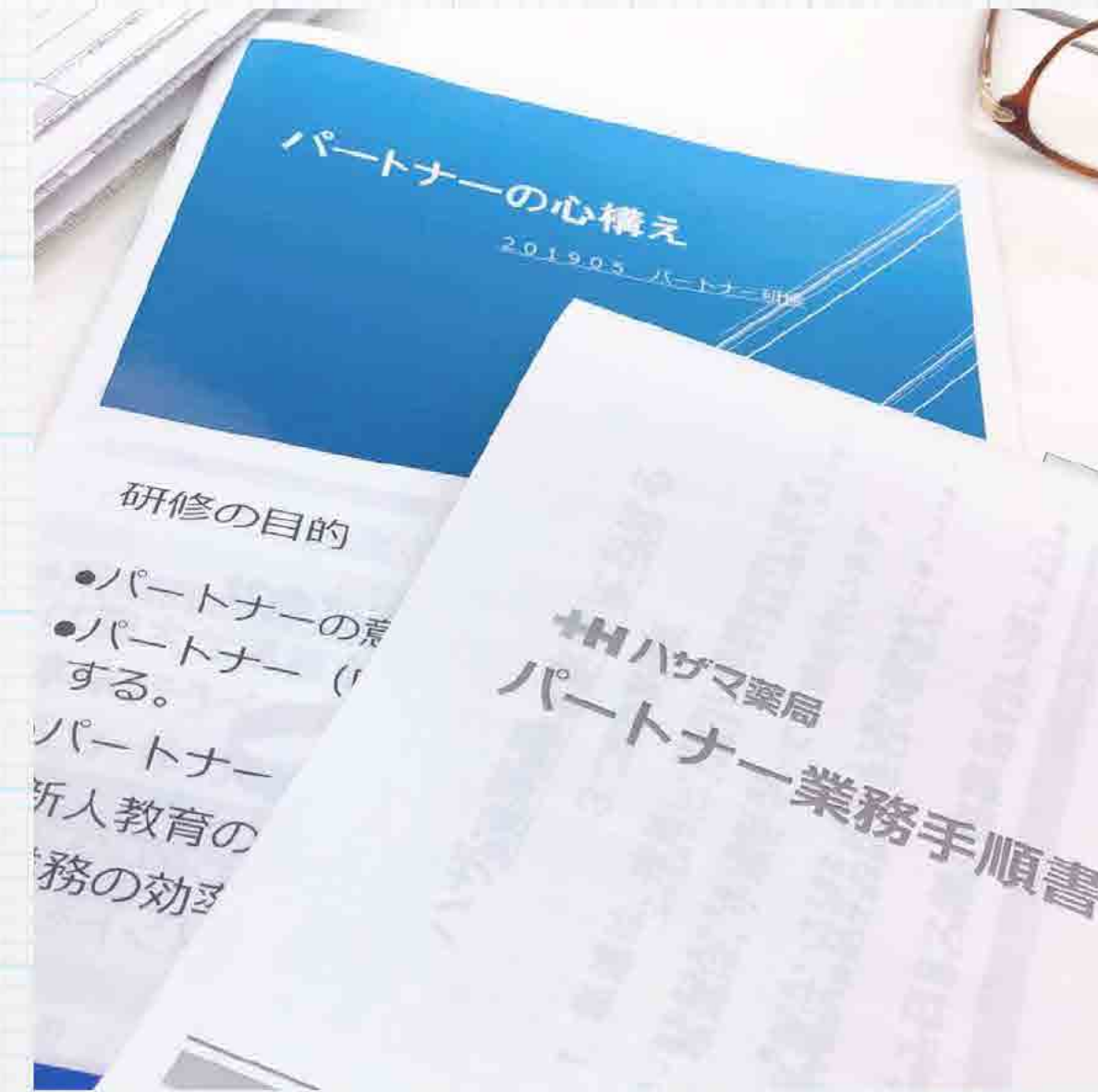
対物業業務の効率化への課題



業務フローの
見直しと整理
+
レイアウト変更



機械化と
ICT化推進
+
業務指導



研修と
手順書作成
+
採用と指導

お金

時間



外部委託（共同利用）スキーム（案）

①薬剤師Aの管理・監督・実施



②配送中の品質管理

（一定温度・湿度の維持技術を応用）

③薬剤師Aが全責任を負う

④薬局Aの機能は確保する （医薬品供給拠点・災害）

高額調剤機器の共同利用

対物業業務効率化へのポイント

- * 目的ではなく、薬剤師が対人業務に従事し、医薬品の適正使用、医師の働き方改革を実現する手段であること
- * 対物業業務効率化には、業務フローの整理・機械化とICT化・薬剤師以外の人材の育成と現場への投入も方策の一つ
- * 処方箋を応需した薬剤師が全責任を負うものであり、対人業務専業、または対物業業務専業薬剤師ができてはならない